

学力向上推進プラン

本校の求める学力とは…

- ・ 知識技能
- ・ 表現力
- ・ 判断力
- ・ 思考力
- ・ 問題解決能力
- ・ 主体的に学ぶ意欲
- ・ 学び方
- ・ 問題発見能力

教科指導の充実

- ★指導方法の工夫、改善により、生徒の学習意欲を高め、基礎基本の学力の定着を目指す。
- ★国語・数学・英語では漢字・計算の小テストや単語テスト等を行い、基礎学力向上を目指すとともに、生徒の学習への興味、関心を高める工夫をする。
- ★質問教室週間を利用して、個々の能力の伸長を図る。

総合学習からの

取り組み

- ・ 体験学習や問題解決学習から得た成果を発表することにより、プレゼンテーション能力を養う。
- ・ 発表や討論を通して、理解を深め、新たな知識や学ぶ態度を身につける。
- ・ 探求的な学習を通して、自己実現の手段や生き方について考える。

読書科の充実

- ・ 朝読書を行い、授業への姿勢をつくる。
- ・ ポップや帯作りなど、自身で得た興味関心を形にし、他者へ伝える工夫を行う。
- ・ 評価の工夫により、学習に対して主体的に取り組む姿勢を養う。

基本的な生活習慣の定着

- ・ 時間を守る、身だしなみを整える、あいさつをする等、基本的な生活習慣の定着を図り、学習の基盤作りを行う。

指導法の工夫

- ・ 「自ら学ぶ前向きな机配置」、「4人グループ学習」を取り入れた発言しやすい授業環境を進め、一人ひとりの学びを保障する授業を構築する。

家庭学習の定着

- ・ 定期考査や長期休業時の学習計画の指導を充実させることで、家庭での学習習慣の定着を図る。
- ・ 生徒の実態に合わせて家庭学習の課題を提示し、全員が提出できるような支援を継続的に行う。
- ・ PTAとの連携を進め、保護者の協力を得る。

進路指導の充実

- ・ 職業調べ(1年)、職場体験学習(チャレンジ・ザ・ドリーム)(2年)、上級学校調べ(3年)、進路学習会(3年)を実施し、系統的な進路学習を行い、将来への見通しをもたせ、学習意欲を高める。

学力向上推進プランの目標

自ら学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的な学習内容の確かな定着とそれらを活用して主体的に学ぶ能力の育成を目指す。

《生徒の実態把握》

- ・ 生徒対象の授業アンケート実施

《支援体制》

- ・ 質問教室の実施
- ・ 学習指導週間の実施
- ・ 各教科の補習体制の整備